

2017-18年度 公共イメージコーディネーター報告

パートナー団体と協力して持続可能な奉仕活動 !

ロータリーの6重点分野(平和の推進・疾病との闘い・水と衛生・母子の健康・教育の支援・地域経済の発展)の考えは国連の「持続可能な開発目標」(SDGs)の5分野(人間、地球、豊かさ、平和、パートナーシップ)に取り入れられている。本年度のテーマ「ロータリー: 変化をもたらす」~変化の主体であるロータリークラブの持続的奉仕活動は国連のSDGsの実現にも貢献。後半はさらに各重点分野に協力団体を増やし奉仕活動を進化・発展させ会員の増加にも寄与したい。

■いよいよ首都高速道路日本橋地下化始動!(2017年11月1日)

2009年東京杉並RCが都市環境改善のため首都高撤去のプロジェクトを立ち上げ、東京日本橋RCを中心に行政宛提言(2012年9月)、「東京に青空を取り戻すシンポジウム」開催(2014年2月26日/グランドプリンスホテル新高輪)、「東京に青空」の100万人署名運動(2020年目標)等の持続支援活動。

■心のバリアフリーを取り除くパラリンピックなどのスポーツ・文化の持続支援活動。

・スポーツ・文化支援委員会 の卓話講師紹介

東京中央RC 山脇 康 氏(日本パラリンピック委員会委員長)

東京大崎RC 岩崎 恭子氏(オリンピック 競泳)

東京中央新RC 丸山 弘道 氏(車いすテニス(国枝選手)コーチ)

東京昭島RC 中村 真衣 氏(オリンピック 競泳)

■インターシップ、BOPプログラム持続支援活動

・インターンシップ委員会

東京都教育委員会とタイアップして高校生に ロータリアンが経営する会社に職場体験プログラム。毎年実施希望校の生徒数が増えている。

・東京世田谷南RC

世田谷区の「BOP」と「学童クラブ」を統合した「新BOP事業」の支援活動。

■東京の景観・環境と伝統の水文化を守り次世代に繋ぐ持続支援活動。

・2017年7月19日 2750地区 山の手西グループ インターシティミーティング

2015年5月26日開催-「東京の水文化を守るフォーラム」(会場/六本木ヒルズ ハリウッドプラザ)-を受けて開催。

テーマ「多摩から江戸・東京をつなぐ水循環の保全・再生」 会場/ハイアットリージェンシー東京 学生(50名)、玉川上水ネット関係者参加。

・2017年8月19日 第2回 シンポジウム 「多摩から江戸・東京をつなぐ水循環の保全再生」

オリンピック・パラリンピック東京大会開催に向けて玉川上水を軸とした水循環システムの再生と水と共生する文化の再構築を目指して開催。

会場/江戸東京博物館 東京5大学(中央大学・法政大学・日本大学・東京理科大学・東京大学)、玉川上水ネット関連団体(約30)、一般参加者

国際ロータリー第2750地区 都市環境改善のため首都高撤去の活動

(参考) 首都高速再生に関するロータリークラブからの提案

国際ロータリー 第2750地区

1 基本方針

首都高再生の目的は都市を再生することにより、「安全・安心」な都市環境を創出し、文化都市を創出して、各自治体及び日本の魅力を向上させること。

交通渋滞を解消し、利便性を向上、電気の削減にも貢献すること。

2 計画概要

首都高再生の目的は都市を再生することにより、「安全・安心」な都市環境を創出し、文化都市を創出して、各自治体及び日本の魅力を向上させること。

交通渋滞を解消し、利便性を向上、電気の削減にも貢献すること。

3 財源について

計画の前提

収入は、都市の再開発事業の収益から入る。収入は、都市の再開発事業の収益から入る。収入は、都市の再開発事業の収益から入る。

項目	内容	金額
首都高再生費用	100年以内での返済計画	4.1億円
首都高再生費用	100年以内での返済計画	1.9億円
首都高再生費用	100年以内での返済計画	1.9億円
首都高再生費用	100年以内での返済計画	1.0億円以上

合計 約9億円

4 東京オリンピック2020に向けて

東京オリンピック2020に向けて、首都高再生の推進を図る。東京オリンピック2020に向けて、首都高再生の推進を図る。

2012年9月「首都高再生に関するRCから提言」

ロータリークラブ主催のシンポジウムへ是非ご参加ください!

2020年東京オリンピック・パラリンピックが決定した今、日本再出発を期して美しい東京を作ろう。

私達の東京に青空を取り戻すシンポジウム

平成26年2月26日(水) シンポジウム...13時45分開場 14時開会 入場無料

会場: グランドプリンスホテル新高輪「飛天」

ロータリアンがオピニオン・リーダーとなって国を動かす!

2014年2月26日「東京に青空を取り戻すシンポジウム」開催 (グランドプリンスホテル新高輪)

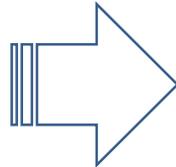
日経新聞 2017年11月2日

周辺再開発が後押し 日本橋・首都高地下化へ検討会始動

東京・日本橋上空を走る首都高道路の地下化に向けた検討会が1日、始動した。旧五街道の起点だった日本橋を街のシンボルにしようと、地下化の議論はこれまでも繰り返されてきた。今回は、具体的に動き出した周辺の民間再開発に背中を押された形だ。地下化は関係者が「針の穴を通す」に評する難事業だが、国首相が有識者に検討を依頼する。05年にも当時の小泉純一郎首相が有識者に検討を依頼する。05年にも当時の小泉純一郎首相が有識者に検討を依頼する。

7月に国や都が地下化で合意したのは、民間による周辺の再開発が具体的に動き出したからだ。首都高が通る日本橋川沿いでは、三井不動産などが超高層ビルの建設を計画する。こうした事業が進行すれば、日本橋川の下を流れる首都高のルート選定は「針の穴を通す」(国交省)作業で、施工方法によって事業費も変わる。国や都、首都高は18年夏をめどに概算事業費などを決める方針だ。

06年に民間再開発の後に首都高を地下化する方式を提言したが、事業化には至らなかった。7月に国や都が地下化で合意したのは、民間による周辺の再開発が具体的に動き出したからだ。首都高が通る日本橋川沿いでは、三井不動産などが超高層ビルの建設を計画する。こうした事業が進行すれば、日本橋川の下を流れる首都高のルート選定は「針の穴を通す」(国交省)作業で、施工方法によって事業費も変わる。国や都、首都高は18年夏をめどに概算事業費などを決める方針だ。



日本橋に青空を取り戻す

2017年7月19日 2750地区 山の手西グループ インターシティミーティング

2017年7月19日(水)

Rotary  国際ロータリー第2750地区山の手西グループ
2017-2018年度インターシティ・ミーティング

ハイアットリージェンシー東京
地下1階 センチュリールーム

「インターシティミーティングプログラム」

- 17:30 登録受付
- 18:00 開会点鐘 榎本又郎 山の手西グループガバナー補佐
山の手西グループ各クラブ代表
開会挨拶 榎本又郎 山の手西グループガバナー補佐
来賓紹介 前 國尚 山の手西グループ幹事
来賓挨拶 猿渡昌盛 2750 地区ガバナー
- 18:20 基調講演 山田正 中央大学教授
講師紹介 天野彰 地区公共イメージコーディネーター
- 19:15 休憩
- 19:25 食事開始乾杯 猿渡昌盛 2750 地区ガバナー
- 19:30 軽音楽 杉野瞳& 梅澤芳野
支援金贈呈
- 20:15 閉会挨拶 横野賢一 東京成城新RC 会長
- 20:20 閉会点鐘 榎本又郎 山の手西ガバナー補佐

R | 第2750地区山の手西グループ

- 東京世田谷ロータリークラブ
- 東京目黒ロータリークラブ
- 東京成城ロータリークラブ
- 東京世田谷南ロータリークラブ
- 東京城南ロータリークラブ
- 東京山の手ロータリークラブ
- 東京成城新ロータリークラブ
- 東京青山ロータリークラブ
- 東京自由が丘ロータリークラブ
- 東京世田谷中央ロータリークラブ
- 東京米山友愛ロータリークラブ
- 東京米山ロータリーEクラブ2750
- 東京代官山ロータリークラブ

2018年度インターシティ・ミーティング



基調講演 山田正 中央大学教授

「多摩から江戸・東京をつなぐ 水循環の保全・再生」

玉川上水・分水網、江戸城外濠、神田川、日本橋川、隅田川、荒川などの状況と研究成果の一部を紹介。



2017年8月19日 第2回 シンポジウム 「多摩から江戸・東京をつなぐ水循環の保全再生」

2017年8月19日(土)

多摩から江戸・東京をつなぐ水循環の保全再生 第2回シンポジウム

場所: 東京都江戸東京博物館大ホール

主催: 玉川上水・分水網を生かした水循環都市東京連絡会

プログラム

■講演会(総司会:中央大学理工学部教授 谷下雅義氏)

9:30 1.開会・シンポジウムの趣旨説明

9:35 2.来賓あいさつ

東京都特別区長会会長 西川太一郎様

日本河川協会副会長 松田芳夫 様

国土交通大臣、東京都知事、関連市区長のメッセージ

3.活動報告

9:45

(1)「五月止水・分水網の保全活用プロジェクトの未来遺産登録」

玉川上水ネット代表 西村弘 氏

(2)「日本橋の水辺再生への取り組み」

(日本橋水辺再生研究会代表 山本泰人氏

10:15 4.基調講演

(1)「江戸・東京の発展と玉川止水・分水網」

江戸東京たてもの園学芸員 真下祥幸氏

(2)「多摩から江戸・東京をつなぐ水循環の保全再生—玉川上水

河川水見直し通水へ」中央大学理工学部教授 山田正氏

11:45 閉会

□船上周遊

*解説:日本河川協会副会長 松田芳夫氏 日本大学講師 細見寛氏

13:45 浅草橋・神田川乗船場 14:00 神田川・日本橋川船上視察

15:10 下船日本橋船着場

□交流会(司会:日本大学講師 細見寛氏)

15:30 日本橋室町「豊年萬福」

1.来賓挨拶(意見交換) 2.今後の予定・謝辞 閉会



基調講演 江戸東京たてもの園学芸員 真下祥幸氏



東京都特別区長会会長 西川太一郎様



日本河川協会副会長 松田芳夫 様



基調講演 中央大学教授 山田正氏



玉川上水ネット代表 西村弘 氏



水辺再生研究会代表 山本泰人氏

「多摩から江戸・東京をつなぐ水循環の保全再生」に関するシンポジウムの開催、誠にありがとうございます。本日、関係者の皆様のご尽力により、本シンポジウムが開催されますことは、かつて江戸の発展に大きく寄与した玉川上水の重要性をあらためて認識する上で、大変意義深いことと思います。

東京都は、昨年十二月、二〇二〇年にかけた実行プランを策定し、新しい東京をつくるため、セーフシティ、ゲイ取り組んでおります。水に關しましては、雨水や治水に加え、今回のテーマに關連する水環境について、水再生水による清流復活事業や民間事業者と連携した皇居の排水浄化など、様々な取組を進めております。今回のシンポジウムにより、都民をはじめとする多くの皆様の間で、東京における良好な水環境の形成に向けた機運が一層高まることを期待しております。

結びに、本シンポジウムの御慶賀と、本日ご出席の皆様のご健康、御発展を祈念いたしまして、お祝いの言葉をさせていただきます。

平成二十九年八月十九日
東京都知事 小池百合子

東京都知事 小池百合子様からのメッセージ



2017年8月19日 「多摩から江戸・東京をつなぐ水循環の保全再生」 船上周遊

2017年8月19日(土)

多摩から江戸・東京をつなぐ水循環の保全再生
～水辺の再生に向けて～

神田川・日本橋川周遊



江戸時代、明治時代の平川(神田川・日本橋川)の変遷

- 1616～1620年 神田川開削
 - ・ 牛込橋(飯田橋駅近く)～和泉橋(秋葉原駅近く)を伊達政宗が開削
 - ・ 日本橋川の三崎橋～堀留橋が埋め立て
- 1728年(享保13) 大洪水により、お茶の水河岸削られる。
 - ・ 流域全体で死者約3000人
- 1903年(明治36) 日本橋川が、再び掘削され、神田川と繋がる。
日本橋川の原形は、平川



会長テーマ

2017-18年度「ロータリー：変化をもたらす」



2017-18年度
国際ロータリー会長
イアン H.S. ライズリー

ロータリーには**6つの重点分野**があります。そのすべてに不可欠な要素の一つが、「**持続可能性**」です。私たちは井戸を掘っただけで立ち去ったりしません。これらの井戸を地域社会が維持し、修理できるように必ず見届けます。

ポリオについて言えば、活動の目的はウイルスを封じ込めることではなく、撲滅することです。

ポリオ撲滅は、**持続可能な奉仕の究極**と言えます。ポリオ撲滅活動は、ロータリーのあらゆる奉仕のモデルとなるべきであり、奉仕のインパクトを大きくする**最善の方法は「持続可能性」を高めることで、多くの場合、他団体とパートナーシップを組むことであると強調するものです。**

これらの優先事項をすべてまとめると、一つの言葉になります。それは「**持続可能性**」です。

持続可能性には、あらゆることを支えるもう一つの側面があります。

それは、この地球の持続可能性です。今日、環境の悪化と気候変動は全人類への脅威となっています。影響を最も受けやすいのは弱い立場にある人たちであり、そのような人たちこそ、ロータリーが助けていく必要があります

私たちが住み、頼っている地球そのものを救う責任がロータリーにあると、私たちが気づくことです。これを、2017-18年度のロータリーの取り組みとすることができます。

ロータリーの活動分野



平和の推進



母子の健康



疾病との闘い



教育の支援



水と衛生



地域経済の発展

SDGs (Sustainable Development Goals) (持続可能な開発目標) 2016年から2030年までの国際目標。

2015年9月25日から27日にかけてニューヨーク国連本部に161の加盟国の首脳が集まり開催された「国連持続可能な開発サミット」にて策定されました。保健や教育分野などの近年の国際社会が直面しているグローバルな問題(世界経済危機・自然災害や気候変動・環境問題・伝染病・難民や紛争など)の対処のため、新たに**17の開発目標・169項目**のターゲットが掲げられている。

5つのP - **People, Planet, Prosperity, Peace, Partnership**

人間、地球、豊かさ、平和のための目標であり、国際社会のパートナーシップにより実現をめざします

17の開発目標



SDGs (持続可能な開発目標) の17目標

目標	内容
1	貧困の根絶
2	飢餓の根絶
3	健康と福祉の促進
4	教育の促進
5	ジェンダー平等
6	水と衛生の確保
7	エネルギーをクリーンに
8	適切な雇用の促進
9	持続可能なインフラと産業
10	国内・国際間の不平等の是正
11	持続可能な都市と居住
12	持続可能な生産と消費
13	気候変動の対策
14	海洋資源の保全
15	陸域生態系・森林の保全
16	平和で包括的な社会の促進
17	パートナーシップの強化